

あぐい

第160号

平成26年1月15日発行

議会だより



生活発表会で和太鼓を演奏しました（宮津保育園）



2P 主な議決内容



4P 議長新春あいさつ



6P 常任委員会レポート



7P 一般質問



16P 園紹介「宮津保育園」

平成25年第4回定例会

可決

阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正

反対討論

杉野 明議員

地方公務員の賃金引き下げは、一般勤労者の給与を引き下げる要因になる。

アベノミクスの経済政策、デフレ脱却と言いつつ、実態経済では物価は上がり、賃金は上がらない状況が続いている。

勤労者の所得を引き上げることが最大の経済対策であると考えます。

可決

阿久比町税条例の一部改正

反対討論

杉野 明議員

①証券会社等に開設される

た口座の一定期間の投資を非課税にすること。

②金融所得課税一本化で証券投資の損益通算等の範囲を拡大すること。

株式譲渡所得は、富裕層の税負担を著しく引き下げ、優遇することは格差拡大を促進することになる。

可決

阿久比町使用料条例等の一部改正

反対討論

辻 忠男議員

消費税増税に伴う使用料の値上げに対して、多くの自治体が「戸惑い」や「慎重な検討」をしている中、阿久比町はいち早く消費税増税を理由とした使用料の値上げを提案した。

この町民負担を顧みない提案に対して、強く反対の意思を表明する。

可決

知多地区農業共済事務組合規約の変更

賛成討論

杉野 明議員

国の農業政策により農業人口は減少し、地産地消は名ばかり。国内の自給率を高める上でも、各地の農業共済事務組合等、農業を支える仕組みを確保することが重要。

県下一つに統合することとで、今まで以上に事務効率を向上し、培ってきたノウハウを継承して、来るべき農業政策の大幅な転換を期待する。
(同組合の解散、同組合の財産処分の議案も同趣旨)

請願

不採択

介護保険要支援者への保険給付継続のため、国に意見書提出を求める請願書

請願代表者

愛知県社会保障推進協議会
議長 森谷 光夫
紹介議員 辻 忠男

趣旨

要支援者を介護保険給付から外す介護保険法改正案提出をやめさせ、保険給付継続を求める意見書を国へ提出願う。

賛成討論

辻 忠男議員

訪問・通所介護を介護保険から外し、市町村に移管されると、多くの自治体は財政上、単独事業では実施できず、市町村の補助がなくなれば、民間やNPO法人の多くは、この事業から撤退を余儀

なくされるなどの問題が生じる。

「要支援外し」などを撤回し、介護を受ける人も支える人も安心できる介護制度の確立に転換すべきと考える。

賛成討論

渡辺 功議員

現在、要支援1、2の人は、介護保険で予防給付を受けることができ、予防サービスの種類や内容、運営基準、単価などは全国一律で決められている。

しかし要支援者の事業等を地域へ移行した場合、市町村の体制によって格差が生じたり、受けられるサービスの内容が異なることとなる。

つまり市町村間の財政規模等に大きな差がある場合、不公平格差が拡大する危険がある。
弱者に対する行政施策において、地域間格差はあってはならない。

議案等

○ 全員賛成可決
○ 賛成多数可決
× 否決

議案

- 阿久比町職員の給与に関する条例の一部改正
(賛成12名、反対2名)
- 阿久比町税条例の一部改正
(賛成12名、反対2名)
- 阿久比町国民健康保険税条例の一部改正
(賛成12名、反対2名)
- 阿久比町使用料条例等の一部改正
(賛成11名、反対3名)
- 阿久比町青少年問題協議会条例の一部改正
- 阿久比町介護保険条例及び阿久比町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 知多地区農業共済事務組合規約の変更
- 知多地区農業共済事務組合の解散

請願

× 介護保険要支援者への保険給付継続のため、国に意見書提出を求める請願書
(賛成6名、反対8名)

陳情

- ◇ 介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書
- ◇ 安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書
- ◇ 介護職員の処遇改善を求める陳情書
- ◇ 医師・看護師・介護職員の確保に影響を及ぼす、2014年4月からの消費税増税の実施中止を求める陳情書

政治倫理審査会報告書(全文)

【久保秋男議員の政治倫理基準遵守義務違反】

平成25年9月24日(火)に阿久比町商工会主催の日帰り視察研修に参加した久保秋男議員が昼食時に飲酒し、視察研修終了後、自家用車を運転し帰宅したことが発覚し、平成25年9月26日(木)に開催された臨時の全員協議会において、久保秋男議員が、当該事実をほぼ認める発言をしたため、「阿久比町議会議員の政治倫理に関する条例第3条第4号」に規定されている「町民の代表として、その品位と名誉を損なう行為」に抵触しているおそれがあると審査請求がされ、議長から政治倫理審査会での審査を求められた事案の審査結果を報告します。

また、対象議員の弁明を聴取し、事件の内容を把握し、政治倫理に関する事項について、慎重に審査を実施したところであります。

「12月1日から3ヶ月間の議員活動の自粛」を勧告することを全会一致で採択されました。

審査会では、対象議員である久保秋男議員の行為は、飲んだ酒の量の多少に拘わらず、決して容認できるものでなく、「飲んだら乗らない」という交通安全の鉄則に対する認識が欠如していたと判断せざるを得ないと協議されました。

この勧告に、「阿久比町民のための議会活動に専念し、町民と議会の信頼を得ることが議員の責任であること」を再認識し、二度と過ちを起こすことのないように、久保秋男議員に猛省を促すことを付け加えて報告いたします。

措置勧告については、本人からの反省の弁とともに、平成25年11月8日に政治倫理審査会委員長、同月13日に議会運営委員会副委員長の辞職願が出され、それぞれの委員会で許可をされ、また、今般、会派の代表の座も退き、議会における役職等を辞するという贖罪を考慮しても、飲酒運転の事実は明白であり、議員として町民の信頼を失墜させたとの責任は、当然に問われるものである。

「12月1日から3ヶ月間の議員活動の自粛」を勧告することを全会一致で採択されました。

この勧告に、「阿久比町民のための議会活動に専念し、町民と議会の信頼を得ることが議員の責任であること」を再認識し、二度と過ちを起こすことのないように、久保秋男議員に猛省を促すことを付け加えて報告いたします。

なお、今後「阿久比町議会議員の政治倫理に関する条例」の倫理基準に違反するようなことがないように、今回の久保秋男議員のみならず、全議員が今一度政治倫理について再確認をし、議員が相互に注意喚起をすべきであることを申し添えます。

新春のあいさつ

すべては阿久比町のために!!



議長 大村 文俊



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい平成26年の新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

平素は、町議会に多大のご理解とご支援を賜り心より厚くお礼申し上げます。

昨年5月の臨時会にて議長に就任して、6月、9月、12月と三度の定例会の議会運営をさせて頂きました。まだまだ努力していかねければならないことばかりで、日々反省を繰り返し議員活動に取り組んでおります。

私は私なりに阿久比町のために全身全霊を注ぎ阿久比町議会を、

阿久比町をしつかりと守り、町民の皆様には議員としての活動をご理解いただけるように努めております。

何をしなければいけないのか？つねに自問自答を繰り返し、町民の皆様のことを一番に考えて、何が正しいのか？住民の皆様は納得いただける議会となることを考えて、全力で議会運営に取り組んでいる毎日でございます。

住民の皆様には、もっと議会傍聴をして議会の動きに関心を持っていただき議会と町民の皆様と一丸となって、阿久比町の未来を輝かしいものにしていかなければならないと思っております。

町民の皆さんに議員として選ばれ町議会へ臨んでいる議員として、24時間365日議員として、しっかりと学び、常に一步先を考え、阿久比町のため住民の皆様のために活動していかなければならないと思っております。

議員として選ばれたから、何をしてもよいかというと、決してそうではないと思います。議員として活動している4年間は、つねに日々住民の皆さんの審判を受けているつもりで、自分の言葉に責任を持ち町民の皆様から信頼される議員となるように日々努力をし、10年20年先の阿久比町をどうすべきか学びそして考え、議員活動を

していかなければならないと思っています。

今年は、さらに努力に努力を重ねて、町民の皆さんに安心していただける議会となるようにパワー全開で頑張つてまいります。

町民の皆様と一緒に、明日の阿久比町を築いてまいりたいと思っております。町民の皆様のお力をぜひとも議会にお貸しください。

おわりにあたり、町民の皆様には、ご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

今年は、町民の皆様とともに、さらなる飛躍の年にしてまいりましょう!!

委員会視察レポート

議会運営委員会

議会改革の取組状況

千葉県佐倉市議会

平成25年10月15日

佐倉市議会では、特定議員の執行部への不適切な働きかけが新聞報道されたことを受け「議員の政治倫理に関する決議」を議決。
「議会改革特別委員会」を設置し「議会基本条例」及び「政治倫理条例」制定に向け検討を行ってきた。
主な成果として、議会報告会・意見交換会の開催、インターネットを活用した議会のライブ中継の開始などがある。



佐倉市議会の正副議長と

郡栄町議会へ視察予定であったが大型台風26号の直撃により栄町では災害対策本部が設置されたため、視察を辞退した。
(竹内一美議員)

総務建設委員会

庁舎免震構造

世田谷区成城ホール・立川市役所

平成25年10月8・9日

東京都世田谷区の成城ホールと立川市役所庁舎を視察訪問した。
成城ホールでは、当町で建設予定の多目的ホールと同規模・同席数・可動椅子等見学した。
立川市役所では免震構造の建設概要と維持管理の現状を視察した。
当町でも26年度より免震構造の新庁舎建設がスタートする。

(沢田栄治議員)



免震構造の立川市役所

60周年記念事業のスナップ



消防階梯操法(11月3日)



田んぼアート(8月4日)

子ども議会(12月25日)



常任委員会レポート

総務建設

知多地区農業共済は解散

当委員会に付託された条例の一部改正3件、知多地区農業共済事務組合3件、補正予算3件の9議案について審議した。

使用料条例について26年4月から消費税が8%になるに伴い行政財産・公の施設使用料を改正するとの内容。



ほぼ完成の第3供給点タンクと設備棟



知多地区農業共済事務組合の解散については、26年4月より1県1組合化に移行するため、関係市町の議会の議決が必要であるとの説明。

解散に伴い財産は、関係市町に配分される。

一般会計補正予算では、「地域の元気臨時交付金」

額の算定や、使途等についての質問が出された。高根台の道路標識、卯坂2号橋を視察した。

審議の結果9議案とも原案通り可と決した。

委員会終了後、第3供

(沢田栄治議員)

文教厚生

条例の一部を改正

当委員会に付託された6議案及び、請願を審議した。

議案の主なものは、

国民健康保険税、使用料、青少年問題協議会、介護保険、後期高齢者医療に関する条例の一部改正。

さらに一般会計と後期高齢者医療特別会計の補正予算についてである。

主な質疑の内容としては、来年度の保育園の入園定員や、休園となっている保育園の備品の利用方

法等についてである。審議の結果、6議案すべてが原案通り可と決した。

請願では、要支援者に対して、現行の予防サービスに差が出るのではないかなどの質問が出された。

また、委員会では、学校給食センターと草木小学校のトイレの状況を視察した。

(山本和俊議員)



学校給食センターの調理室

一般質問

ここが聞きたい

町政を問う



辻 忠男 議員

保育園・幼稚園

基準緩和を検討

問 幼稚園の入園希望者数と入園者数（3年間）は。

答 3歳児の入園希望者数は、平成24年度は57人、平成25年度は93人、平成26年度は96人である。

問 幼稚園の入園希望者を最大限入園させる施策は。

答 幼稚園の定員160人を164人に増員した。

問 幼稚園の駐車場の拡張は。

答 開園当初15台程度であったが、その後18台程度を拡張してきた。今後も検討する。

問 近隣市町の保育園入所基準（親のパート日数・時間）は。

答 本町と同じ月16日以上は7市町、月15日以上は3市町である。時間は全市町とも1日4時間以上である。

問 本町の入所基準を改善（パートを15日以上に）できないか。

答 入所運用基準の緩和については、検討する。

生活道路の整備

後退用地の確保

問 狭あい道路の整備状況（セツバック等）と今後の計画は。

答 狭あい道路の整備状況については、現在10件の申請がある。その内、後退用地を売渡したいとするものが2件、自己管理地としたいとするものが8件となっている。その他、道路の寄付は5件あった。狭あい道路の解消に向けた後退用地の確保に努める。

問 住宅地の生活道路（町道2207号線）の整備は。

答 町道2207号線は、白沢台の入口付近から主要地方道西尾知多線のボックスカルバート南までの道路であるが、新たに道路の舗装修繕の予定はない。

問 防犯灯の設置状況（今年度の申請と実施）は。

答 ①年間30基の理由は、②区長の申請が議会質問より、優先するのは、③町道2207号線に設置できないか。

④草木地区は暗いが。

答 ①平成22年度から申請灯数が減少傾向のため、30灯とした。

②区長の申請により、年間防犯灯設置計画を立てて実施している。

③④2207号線及び、暗い所の設置については、区長の申請により、新設基準に基づき設置する。

循環バス

現行を踏襲

問 本運行の計画概要は。

答 平成25年9月1日改正の運行ルート、ダイヤで行い、車両は現在の2台を使用し、料金は無料で考えている。

問 路線延長の計画は。

答 2年間の試行運転で路線の延伸を実施した。

問 通勤・通学の利用は。

答 通勤通学の時間帯の運行は、道路の交通量が多く渋滞に巻き込まれ、時間通り運行出来ず電車の時間に間に合わない事が多々発生する可能性がある。運行時間の拡大は見送る方針である。

問 積み残しの無い車両にできないか。

答 大型車両にすると、店舗、医療機関と一部地域への進入が出来なくなるので、現在の運行ルートで継続を考えている。

広報表紙

1 番にこだわっていない



澤田 道孝 議員

問 広報あぐい 9月15日号に「アグピーをデザインした原動機付自転車のナンバープレート」の交付が、税務課で始まった」とあった。

写真を見ると町長が2番のナンバープレートを町民に渡している写真が掲載されていた。なぜ、1番のナンバープレートではなかったのか。

答 交付開始の9月2日に11名の方がナンバーの抽選に来庁し、町長もこの抽選に参加した。その抽選の結果、町長がA1番のナンバーとなった。

9月15日号の表紙の写真は、町制60周年の記念として、A2番のナンバープレートの方へ、町長が直接手渡しをしている写真である。

問 町長は、何かにつけて1番の番号を希望するということだが、町民の証言でわかってきた。

なぜ1番にこだわることか。また、それは法律に違反しているのではない

答 町長は、1番にこだわってはいない。

また、法律には違反していない。



阿久比町オリジナル
「アグピーのナンバープレート」

都市計画道路

県と町で慎重に検討

問 環状線の開通及び今後の見通しは。

答 町内の東西交通の円滑化を図れるため県に早期事業化を要望している。

問 野崎交差点の交差方法は、どのように決定されたのか。

答 野崎交差点の交差方法は、まちの将来像を勘案し、どのような交差方法が最も大切かを県と町とで一緒に慎重に検討するので、まだ決定していない。

問 9月議会でもった植大地内の面整備について、その場所を再度伺う。

答 植大地区の面整備は、本町の南玄関をつくることにより阿久比町全体の発展につながるため、新たなまちづくりとなるよう面整備が出来るように県とともに考えて進める。



都市計画道路環状線の予定地



渡辺 功 議員

ちょっと気になる事

検討を重ねる

常に住民の視線に立つた行政運営が求められており、町民や地域に対して、親切で丁寧な仕事に心がけることが大切である。

ちょっと気になる事6
項目について質す。

問 伝統や文化の伝承にむけて「郷土学習同好会」の資料を図書館等にも展示しては。

また文協まつりや文化祭で「阿久比歴史めぐり」を実施しては。

答 「郷土学習同好会」の資料は、中央公民館ロビー及び阿久比中学校「アグピーギャラリー」で、それぞれ1ヶ月程度展示している。図書館での展示は、依頼があれば展示コーナーを検討する。

「歴史めぐり」は、良い提案を頂いたので、今後検討する。

問 「ふれあいの森」に屋外ステージの設置を。

答 「ふれあいの森」に屋外ステージを新しく建

設するには、多額の費用が予測される。平成28年度には新庁舎にホールが建設されるため、その利用状況を含め検討する。

『教育』

問 教育委員会のホームページの充実を。

答 事業内容や予定などを掲載している。

今後は、他市町の内容も研究し、組織や名簿などの充実を図っていく。

問 道徳アンケートに対する今後の動向は。

答 幼保小中一貫教育プロジェクトの「生活・健康部」が、実施の必要性・時期・内容を検討している。

問 児童・生徒の学力は、向上しているのか。

答 学習意欲・問題解決能力等を捉え、習熟度を把握しながら、授業研究・指導改善を進めている。予習復習により、学習意欲や表現力は高まっている。

『循環バス』

問 現状の課題は。

答 積み残し、ルートの延伸は、2回のダイヤ改正とバス停の新設により改善されつつある。

問 市民病院まで路線延長を。

答 町内で運行されていない地域への延伸を優先し、病院への延伸は今後の課題とする。

『粗大ごみ』

問 収集に要する費用は。

答 粗大ごみ収集に要する費用は、昨年度粗大ごみ収集運搬業務委託料428万4千円、粗大ごみ監視業務委託料155万4千円の合計583万8千円である。

問 再利用の状況は。

答 粗大ごみ再利用は、昨年9月から始めた。今年9月の収集日には、再利用希望163個、再利用品は82個であった。品目は、ベビーカー、チャイルドシート、扇風

機などであった。

問 収集回数を増やせないか。

答 粗大ごみの収集は、町内24ヶ所で9月と3月に3日間、地区を分けて収集している。現在の方法を維持していく。

『高根台地区』

問 幹線道路の舗装整備は、いつ実施するのか。

答 幹線道路の舗装修繕は、国庫補助事業で全面的な補修ができるように計画している。

今年度は、特に傷みが激しい箇所を補修する。

問 団地内の一旦停止線等の標示の整備は、どのように計画され実施しているのか。

答 一旦停止線等の標示の整備は、愛知県警察が管轄となっているので、特に緊急に修繕が必要な箇所については、半田警察署に要望する。

問 公園フェンスの修繕整備を。

答 高根台3公園のフェンスの修繕は、傷みの大きなものから優先して修繕する。

問 中央公園に井戸を掘ることはできないか。

答 高根台地区で東浦町と災害時等緊急連絡管にて接続していること。

また、4月に供用開始を予定している第3供給点の水道タンクに飲料水が確保されることから井戸を設置することは考えられない。

全国学力テスト

公表は慎重に対応



杉野 明 議員

学校間や地域間の競争と序列化の過熱で廃止された「全国学力テスト」が復活し、来年度より都道府県教育委員会による市町村や学校別の成績公表が認められることとなった。

テストの実施自体問題がある中、公表は自治体間や学校間の点数競争をさらに激化させることになる。

問 町として、全国学力テストに取り組んだ結果に対する見解は。

また、市町村別・学校別の成績など、結果の取り扱いについて。

答 成果と課題を把握し、課題解決のために対策を検討することが重要である。数値による公表はしない。

問 町長・教育長のテストに対する考え及び市町村別・学校別成績公表に対する見解は。

答 悉皆調査（注）を行う意義は十分にある。次年度以降も継続する予定である。

ランク付け・差別化につながらないよう慎重に対応していく。

結果の通知は、市町村の施策にも反映させることが重要である。

公表は教育委員会の考えを十分考慮し、慎重に対応しなければならない。



授業風景（草木小学校）

（注）
悉皆調査とは全数調査に同じ。
広辞苑より

自然エネルギー

太陽光発電

福島第一原発事故以降、世界中で「原発に頼らない再生エネルギーへの転換」への取り組みが進められつつある。昨年3月の議会で「町としての取り組み」を求め質問したところ「研究していきたい」との答弁があった。

問 1年8カ月過ぎた。その後の研究はどうなっているか。

答 本町のエネルギーの活用は、地理的・地形的な状況を考慮すると太陽光発電を推進することになる。

役場新庁舎には、50KWと30KWの太陽光パネルを設置する計画となっている。

問 今後の方針は。

答 平成20年度から住宅用太陽光発電システム設置補助金を活用した設置数は、申請中を含めて464件になった。

本町は、この補助を継続しているが、知多地域の市町の中には、補助を中止した市町もある。

問 町の再生可能エネルギー活用の数値目標は。

答 再生可能エネルギー活用の数値目標は、総合計画の中で平成27年度が中間目標値40件、平成32年度が最終年度目標値50件となっているが、既に設置実績がこの数値目標を上回っている。



鈴木 一夫 議員

小中学校のトイレ

計画的に進める

今後も教育環境の整備
充実が必要となる。
特にトイレの改善、改
良の要望は益々高まるも
のと思われる。

問 各学校のトイレの洋
式化は怎么样了っているか。

答 すべての小中学校は
水洗化が完了している。
洋式化率は、全体で19・
7%となっている。

問 各学校からの要望、
必要性をどう理解してい
るか。

答 施設の老朽化も進ん
でおり、衛生面からも必
要であると考えている。



草木小学校のトイレ

問 他市町（5市5町）
の現状は。

答 知多地域の普及率は
32・2%となっている。

問 今後の見通し、対応
をどう進めるか。

答 洋式化普及率や施設
の老朽化等を勘案して順
次進めていく。

問 今後の課題は。

答 国・県に補助金要望
を行い、費用対効果と児
童生徒の要望等も参考に
し、施工時期等に十分配
慮する。

いづれも110番の家

スムーズな情報提供

現状でも十分機能して
いると思うが、こども1
10番の制度をもっと高
める必要がある。

地域や行政の連携、ま
た犯罪の抑止力が向上す
ることを期待して以下6
点を伺う。

問 このシステムはいつ
ごろから始まったか。

答 平成10年度から半田
警察の委嘱により開始さ
れた。

問 スタート時点での期
待、思いは。

答 誘拐・殺人等の凶悪
事件から地域・学校・関
係者が協力して、子供の
安全を守りたいの思い。

問 町内（学区別）の設
置数は。
答 町内に53箇所がある。

問 学校、家庭、地域、
行政の連携は。

答 地域や保護者から、
不審者等の情報を学校・
教育委員会等に通報して
もらい、その情報を広く
メール配信している。

問 多く設置することに
より犯罪の抑止力は高ま
ると思うがどうか。

答 設置数を増やすこと
で、駆け込みやすくなる。

問 今後見直すとすれば
どのようなことか。

答 スムーズな情報提供
の方法等を研究する。



こども110番の家

町民予算枠

今後も継続



都築 重信 議員

本年度より事業がスタートした住民税1%町民予算枠事業。住民の意欲が期待される。

問 財源となる住民税1%町民予算枠の金額を伺う。

答 個人住民税の現年度課税分収入済額を基準として1%町民予算枠を算定している。

平成25年度実施分は、平成23年度決算額、13億9108万円の1%である1391万円を予算枠とした。

問 本年度の住民税1%町民予算枠の予算を伺う。
答 本年度予算額は、わくわくアイデア事業280万1千円、わくわくコラボ事業796万2千円、合計1076万3千円を計上。

問 26年度の住民税1%町民予算枠の予算を伺う。
答 9月14日の公開ヒアリング審査を経て、わく

わくわくアイデア事業5事業、申請額386万5千円、わくわくコラボ事業14事業、申請額558万6879円が採択されたが、26年4月からの消費税増税の影響額を現在調整中である。

問 本年度実施された事業で、非常に好評だった事業でも来年度は不採択となる事業が出ています。不採択となる理由を伺う。

答 町民予算枠審査委員会が、事業の公益性、費用

対効果、熱意、継続性、前年からの発展性など、慎重に審査した結果であり、ご理解いただきたい。

問 この事業を今後も継続させていくのか伺う。

答 ご指摘のとおり町民の意欲が発揮でき、協働のまちづくりを推進するうえで本当に有意義で必要な事業と考えるので、今後も継続していく。



住民税1%町民予算枠事業
「わくわくAgufesta」

地域福祉計画

27年3月に配布

現在進行中の地域福祉計画は、今後の地域福祉の根本になる計画と思われる。

現段階での地域福祉計画策定の方法を伺う。

問 学区ごとで開催されている地域福祉懇談会の主な内容は。

答 地域の特性や将来像など、福祉の視点から見たまちづくりについて、住民同士が意見交換をする機会を提供し、計画に反映することを目的とする。

問 多くの町民の意見を地域福祉計画に反映させるべきと思うが、住民福祉懇談会への参加を促す方法を伺う。

答 町広報誌やチラシを全戸配布した。また行政協力員・民生委員等の方々に開催趣旨を説明し、住民の参加をお願いした。



地域福祉懇談会

問 地域福祉計画が策定できるのはいつか。

答 社会福祉協議会に委託し、平成25・26年度で策定し、計画書は平成27年3月を予定している。

問 どのような方法で町民に伝えていくのか。

答 概要版を作成し、全戸配布する予定である。



渡辺 和幸 議員

ふるさと納税

24件 4,635,000円

ふるさと納税制度とは、生まれ育った町に納税で

きる制度で、阿久比町ではこの制度を受け入れてから五年程経過している

問 当町はこの納税をどのような方法でPRしているか問う。

答 町のホームページでPRしている。

問 受け入れから5年以上経過しているが、その寄付額はどれ程か。

答 平成24年度末で、24件、463万5千円となっている。

問 納税した場合の特典や利用目的の指定等はあるか、無かったか。

答 町長署名のお礼状を送っている。

利用目的の指定は、七種類があり、寄附の指定があったのは三種類である。

遺族会

追悼費は補助金の中で

町内には戦争で亡くなった戦没者は約200柱である。

遺族の会員として今残っているのは約130遺族と減り、会費も減収し、さらに高齢化の進む中、活動にも支障をきたしている。

問 毎年10月に町主催の戦没者追悼式が行われているが、費用の負担は町が負うべきと思う。

答 郡遺族会連合会負担金は、会員数の減少により減額傾向にあるが、活動費は平成21年度から減額していない。

問 当日、戦没者の受付を設けてほしい。

答 戦没者追悼式の追悼壇の飾り花、献花用の菊等の費用は、補助金の中に含まれている。

また、大きな行事への職員の派遣は、事務局である社会福祉協議会と調整いただきたい。



戦没者追悼式

コミュニティ推進協議会

自主的な活動の推進



勝山 制 議員

コミュニティ推進協議会の今後の課題を問う。

問 コミュニティ推進協議会の検証、検討は。

答 阿久比南部コミュニティ推進協議会は、昭和58年から30年を超す実績と伝統があり、地域住民の交流と絆を強め、自主性と責任を持ち合わせた、すばらしい地域組織であると考えている。

問 町としてコミュニティ推進の中長期計画は。

答 第5次総合計画第6章第2節にコミュニティ活動を計画している。大字・自治会など自主的な活動の活性化を推進していく。

問 ①全学区への協議会拡大の考えは。

②敬老会、文化祭、ふれあいサロン、宅老、防災訓練等の事業を学区ごとの協議会で実施しては。また、地域活性化の考えは。



アクティブあぐい
ヒップホップダンス教室

答 様々な活動をとoshite大字・自治会などが自主的に情報を提供し合い、交流することにより、活動の輪が広がり、大字・自治会の範囲を越えた心のふれ合う広い地域のつながりができることを期待している。

問 地域コミュニティの役割からすると、各学区にアクティブあぐいの設置が望ましいと思うが。

答 小学校区単位の活動

としては、平成24年度までは、草木小学校区を基盤とし、平成25年度からは、阿久比町体育協会に入り組織力の強化と指導者の確保に努め、全町での活動をさらに推進するよう活動している。今後も、スポーツ推進員や地域の体育振興会等に声をかけさせて頂き、地域からの要望等を取り込んで会員確保と事業の充実を図り、発展を推進していく。

裁判

過去5年で7件

町が関係する裁判の経過を問う。

問 過去5年間で何件の裁判があったか。

答 過去7件あった。

問 上水道第3供給点関連は何件か。

また各裁判の年月日、事件名、裁判所名、判決日、判決結果は。

答 3件、詳細下表(①③)

問 上水道第3供給点関連以外は何か。

また各裁判の年月日、事件名、裁判所名、判決日、判決結果は。

答 4件、詳細下表(④⑦)

		年月日	事 件 名	裁 判 所 名	判決日・結果
上水道	①	22.07.29	筆界確定請求	名古屋地裁半田支部	町の主張確定
"	②	22.10.13	損害賠償請求行為請求	名古屋地裁	24.10.18 町の主張認め棄却
"	③	23.03.17	損害賠償等請求	名古屋地裁半田支部	24.03.08 町の主張認め棄却
その他	④	20.11.12	固定資産評価決定書取消請求	名古屋地裁	21.12.17 町の主張認め棄却
"	⑤	21.01.27	損害賠償請求	名古屋地裁	22.03.26 和解
"	⑥	22.10.08	損害賠償等請求	名古屋地裁半田支部	23.02.17 町の主張認め棄却
"	⑦	25.07.22	消費税請求	半田簡易	25.09.19 本人より取り下げ



三留 享 議員

ルール運用は公平に

今後は適切に対応

去る10月行われた町民レクリエーション大会において、興趣に水を差すルール運用問題が指摘されている。以下の点について認識と今後の対策を問う。

問 地区対抗1000m

リレー予選で組別に反則基準を変えたのはなぜか。

答 地区対抗1000mリレーの基準に、テークオーバーゾーン内でバトンが次の走者の手へ渡れば違反では無いと判断する。第1組の判定については、審判員4名において合議した結果、「内」で渡っていたと判断し、第3

組の判定については、「外」で渡ったことが確認できたことにより判断した。今後は、適切な説明に努める。

問 会場内での煮炊きを禁止したのに、例外を認めたのはなぜか。

答 例年、基本的に煮炊きは禁止であるが、今年度は、地区防災訓練の炊き出し訓練として希望し、提出された申請書により安全性の確認ができた場合は許可することとした。周知がされない地区があったので、今後はこのようなことが起きないように周知徹底する。



町民レクリエーション大会のリレー

インフラ管理の現状

情報をもとに

道路関係施設は、住民の日常生活に不可欠な設備であるため、その整備は自治体の最も重要業務の一つである。

問 日常の点検体制と推進状況。

答 平成23年度より橋梁に係る道路ストック総点検をし、計画的に補修工事を行っている。大規模な道路補修事業は、来年度から道路ストック総点検をし、国庫補助事業として道路補修を行う計画である。生活道路は、行政協力員や住民からの情報、建設環境課の職員のほか全職員が通勤途中や公用車利用中の情報をもとに対応している。

問 整備の実行状況。

答 平成24年度には、知多半島道路に架かる矢高1号橋と植大橋を施工し

た。平成25年度は、卯坂2号橋と卯坂3号橋を施工する予定である。

問 重大な問題点と未実施案件の有無。

答 行政協力員から維持補修等施工申請書を提出して頂き道路補修を行っている。

平成24年度は125件の申請があり70件を実施した。本年度は、現在109件の申請があり63件を実施した。

歴史教育における南京事件の教え方

指導要領で

問 某新聞社がねつ造した従軍慰安婦問題が、韓国とわが国の関係を最悪な状態に追い込んでいる。幸いこの問題は、研究者の努力と教育的配慮により教科書から削除され

たが、もう一つのねつ造問題である南京事件（大虐殺）は依然掲載されている。

この問題を前途ある生徒にどのように教えているか。また、歴史教育の目的をどのように考えているか。

答 当時は、日本国民には知らされず、その後の研究により不明確な部分もあるのでさらに研究が必要である。

生徒の教科書の選定は、所定の手続きを経て決定・採用されているので問題はなく、指導者は、史実を確認し共通認識を持ち、教師相互の連絡と研究をし、学習指導要領に基づき指導している。

進むべき道を考え、何を身につけていくとよいかを学び成長して欲しいと考えている。

その他の質問項目

・各種講演会の開催状況について

保育園 紹介

宮津保育園

変わりゆく地域の中で一人ひとりを
大切にした保育を目指しています

《保育園の目標》

心身ともにたくましく
おもいやりのある子ども

《異年齢での関わりの中で》

年少さんと年中さんで
公園にお散歩!!



陽なたの丘ができ、年々
園児が増えています。

保育園の生活も変わっ

てきました。同年齢の友
だちがたくさんできたこ
とはとても嬉しいことだ
ですが、以前は自然にでき
ていた異年齢児との交流
は少なくなりました。

異年齢での関わりは、
大きい子に思いやりの気

持ちを持たせ、小さい子
には憧れの気持ちを育み
ます。

意識的に異年齢児との
活動を増やしています。

ゆつたりとした小さな
子ども達の輪だったもの
が今は大きく賑やかな、
たくましい輪となってい
ます。

《地域との交流》

● グランドゴルフ交流

五月と十月の年に二回
年長児が、宮津山田と宮
津団地の達者会の方たち
と一緒にグランドゴルフ
を楽しみました。

他にも十二月にはもち
つき会を一緒に行い、年
長児が太鼓を披露したり、
一月にはふれあい会で年
中児と一緒に遊びを楽し
んだりします。

● 畑で収穫体験

地域の田中さんと大柴
さんの畑で毎年、じゃが
いもやさつまいも掘りな
どを楽しませてもらって
います。

じゃがいもたくさん
獲れたよ～!!



グランドゴルフ
楽しいよ!!



《地域の中の保育園》

地域には未就園児のお
子さんを持つ家族がたく
さんいます。

月に一度の「なかよし
広場」「園庭開放」には
多くの親子が来てくれ
ています。

保育園が子育て家族の
憩いの場になるように環
境を整えて待っています。

編集後記

新年明けましておめで
とうございます。

午年生まれの方は、情
熱的な性格で、才知、才
能に富んでいます。

一方で、好き嫌いが激
しいところもありますが、
開けっぴろげで正直さが
あるので、人には憎まれ
ず人気があります。

例えばどんな状況でも短
気を起こさず、明るさと
前向きな姿勢を失わない
ことが更に運気をあげる
といわれています。

本年もよろしく願ひ
いたします。

議会だより編集特別委員会

委員長 渡辺 功
副委員長 山本 俊
委員 沢田 栄治
委員 竹内 一美
委員 都築 重信

次回定例会

3月4日(火) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎ 48-1111
FAX 48-1711

議会事務局へ